



シンポジウム「大学における地域貢献のあり方」を開催

徳島大学地域連携事業の中のパイロット支援事業の一環として行いました「徳島における多言語表示に関する言語景観研究」の総括的な報告、本パイロット支援事業の評価、大学における地域貢献のあり方についての討議を行います。

(報道概要)

昨今、日本の大学では、地域との連携や地域貢献の重要性が強調されるようになり、各大学がさまざまな形で地域に関わり、いろいろな取り組みが進められています。

本シンポジウムでは、徳島大学地域連携事業の中のパイロット支援事業の一環として行いました「徳島における多言語表示に関する言語景観研究」(平成 22 年度～24 年度)の総括的な報告を行うとともに、他大学の研究者を交え、本パイロット支援事業の評価と、大学における地域貢献のあり方について討議を行います。

- イベント名：シンポジウム「大学における地域貢献のあり方」
- 日 時：平成 25 年 2 月 3 日(日曜日) 午後 2 時～午後 5 時 30 分
- 場 所：徳島大学総合科学部 1 号館 3 階南棟 310 号室
- 参加費：無料
- 申込み方法：当日会場にて申込み(先着 30 名)
- 駐車場：総合科学部駐車場をご利用ください。

第 1 部 地域貢献型の取り組み—事例報告—

岸江信介(徳島大学教授・地域創生コース代表)

「地域貢献型プロジェクトの取り組みについて」

村田真実(徳島大学大学院総合科学教育部院生／日本学術振興会特別研究員 DC2)

「言語景観への取り組み」

董 艶秋(徳島大学大学院総合科学教育部院生)・ブロイヤール・ビクトリア(同 左)

「地域連携のケーススタディー翻訳事業について」

峪口有香子(徳島大学大学院総合科学教育部院生)・陳 英(同 左)

「徳島への外国人旅行者に対するアンケート調査—震災後の日本に対するイメージ—」

第 2 部 指定討論—事例報告の評価と大学における地域貢献のあり方に関する議論—

中井精一(富山大学人文学部教授)

島村恭則(関西学院大学院社会学部教授)

高岡弘幸(福岡大学人文学部教授)

岡田浩樹(神戸大学大学院国際文化学研究科教授)

第 3 部

1. 指定討論者間の討議
2. 全体討議

お問い合わせ先

部局名 徳島大学大学院リソ・アーツ・アンド・サイエンス研究部

責任者 岸江信介 教授

担当者 同上

電話番号 088-656-9309

メールアドレス

kishie.shinsuke@tokushima-u.ac.jp